



2022年6月10日

各位

会社名 株式会社くろがね工作所  
 代表者名 代表取締役社長 神足 尚孝  
 (コード: 7997、東証スタンダード)  
 問合せ先 取締役経営管理本部長 森 吉武  
 (TEL. 06-6538-1010)

2022年11月期第2四半期業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年1月17日に公表いたしました2022年11月期第2四半期業績予想及び通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

(1) 2022年11月期第2四半期累計期間の業績予想数値の修正 (2021年12月1日～2022年5月31日)

(連結業績)

単位: 百万円

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	4,110	5	13	△5	△2円94銭
今回修正予想 (B)	3,620	△170	△162	△172	△100円97銭
増減額 (B-A)	△490	△175	△175	△167	
増減率 (%)	△11.9	—	—	—	
(参考)前期第2四半期実績 (2021年11月期第2四半期)	4,655	0	28	89	52円76銭

(個別業績)

単位: 百万円

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	4,080	3	△13	△7円63銭
今回修正予想 (B)	3,590	△172	△180	△105円67銭
増減額 (B-A)	△490	△175	△167	
増減率 (%)	△12.0	—	—	
(参考)前期第2四半期実績 (2021年11月期第2四半期)	4,625	25	93	54円61銭

(2) 2022年11月期通期業績予想数値の修正 (2021年12月1日～2022年11月30日)

(連結業績)

単位: 百万円

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	7,900	90	80	45	26円42銭
今回修正予想 (B)	7,900	50	30	0	0円00銭
増減額 (B-A)	0	△40	△50	△45	
増減率 (%)	0.0	△44.4	△62.5	△100.0	
(参考)前期実績 (2021年11月期)	8,373	△102	△70	△5	△3円15銭

(個別業績)

単位：百万円

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	7,850	55	25	14円68銭
今回修正予想 (B)	7,850	30	0	0円00銭
増減額 (B-A)	0	△25	△25	
増減率 (%)	0.0	△45.5	△100.0	
(参考)前期実績 (2021年11月期)	8,320	△68	△57	△33円79銭

## (2) 差異の理由

第2四半期累計期間の事務用家具部門においては、ポストコロナ、ウィズコロナを見据えたオフィス環境の見直しに伴う需要や、一層関心が高まりつつあるIAQ（インドア・エア・クオリティ）を重視した安全・安心なワークプレイスの構築に対する需要は根強く、引き合い及び受注案件は中小型物件を中心に堅調に推移をしましたが、新型コロナウイルス感染症に伴う、主に中国・東南アジア地域におけるロックダウン等による完成品や部品・部材の調達遅延がリードタイムへ大きく影響し、納品時期が遅延する状況等により売上高が減少した事、更にウクライナ情勢の緊迫化による資源価格の一段の高騰や為替レートが円安傾向となった事等により、売上総利益率が低下しました。固定費を中心とした経費削減は計画とおりに進捗をしましたが、営業利益は減少しました。また本年3月に三菱UFJ銀行をアレンジャーとするリボルビング・クレジット・ファシリティ契約によるシンジケートローン（20億50百万円）の組成に伴うアレンジャーフィーの計上に伴う営業外費用が増加した事もあり、経常利益、当期純利益も減少しました。

なお、通期予想につきましては、売上高については、事務用家具部門においては引き続きオフィス環境の見直しに伴う引き合いが増加傾向であること、大型商業施設や工場向け空調機器のOEM生産も堅調に推移をする見込みである事から、本年1月17日に公表をした業績予想からの変更はありませんが、鋼材価格の高騰等による売上原価率の上昇に伴う売上総利益の減少により営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が減少する見込みであります。

(注) 上記記載の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上